

市長と語ろう！笠間タウントーク 第11回 議事録

開催日時 平成21年8月28日（金） 午後7時～8時30分

開催場所 新渡戸コミュニティーセンター

参加者 市民16人

《フリートーク（意見交換）》

1. いこいの家「はなさか」を敬老の日に無料開放してはどうか
2. 側溝のフタを整備してほしい
3. 南指原岩間停車場線を整備してほしい
4. 側溝の泥の清掃について
5. 岩間運動広場（旧岩間公民館のグラウンド）の月曜日の利用について
6. やすらぎの森の駐車場について
7. 学校の夏休みのあり方について
8. 岩間武道館前の道路の整備について
9. 通学路の拡幅について
10. AED講習会について
11. 市でおみあいパーティーを実施してはどうか
12. 耕作放棄地について
13. イノシシ対策について
14. 今後さらに合併することはあるのか
15. 畜産試験場跡地の利用について
16. 防災無線について
17. バイオ燃料について

《内容》

1. いこいの家「はなさか」を敬老の日に無料開放してはどうか

【意見等】

いこいの家「はなさか」を敬老の日に、笠間市だけでなくどこの市町村も関係なく70歳以上無料にしてはどうか。

【回答】

「はなさか」を敬老の日に無料にするというのは良いアイデアだと思いますので、検討してみます。

2. 側溝のフタを整備してほしい

【意見等】

新渡戸コミュニティーセンターの前の通りは非常に狭いので、市で側溝のフタをするというお話は聞きましたが、それを途中までではなくて一気にできないか。

【回答】

国道355号からガード下の区間だと思います。この間の新渡戸コミュニティーセンター前までは岩間町時代に着手し、整備が終わりました。この先ガード下まで一気にできないかという質問ですが、今年度は100mを予定しています。予算の都合上一気にというのはなかなか難しいです。

3. 南指原岩間停車場線を整備してほしい

【意見等】

県か国の仕事かと思うが、岩間を発展させるには笠間の吾国山から長沢を通ってくる県道南指原岩間停車場線を整備してほしい。県の測量も終わっているが予算がなくてできないということ聞いた。

【回答】

県道南指原岩間停車場線がなぜ進まないのかといいますと、これは県の事業ですが、簡単に言えば予算がないということです。県道の中でも主要地方道と一般道と県道の種類が2つあります。主要地方道

というのは交通量も多くて国庫補助事業などを入れて作る道路ですが、一般県道については県が単独でやるものですから県の道路予算の全体量が少ないため、どうしても優先順位としては上位に行かないというのが現実です。

ただ、南指原岩間停車場線が開通すると八郷へ行く道路とつながるので、市としても毎年県にお願いはしていますが、進まないという状況です。これからもしっかり要望はしていきたいと思います。

4. 側溝の泥の清掃について

【意見等1】

私が住んでいるところは中学校の通学路になっていて、5年ほど前に両側側溝を敷設していただいたが、側溝の清掃はどうしたらよいか。1mもある重いフタなので、ちょっと持ち上げるといっわけにはいきません。できれば消火栓を利用してホースで側溝をきれいにしたいと思うが、地区でやってもいいものか、それとも市のほうでやっていただけるのかを伺いたい。

【回答1】

道路と側溝を含めまして市の管理ですが、笠間管内でも道路延長は約1,500km、岩間地内で320kmの延長があります。全線の管理までは手が回らない状況で、地区の皆さんに側溝の清掃をお願いしているところですが、1mものフタが入っているということで、そういう難しい場所については市で対応していきたいと思います。

【意見等2】

側溝の件ですが10年前に嘆願書は出してある。いまだにやっていませんので早急をお願いしたい。

【回答2】

Aさん宅前から東に向かってくる道路のことかと思います。これに関しては来年から予算要求をしていきたいと考えています。予算が計上されれば整備をしていきます。

5. 岩間運動広場（旧岩間公民館のグラウンド）の月曜日の利用について

【意見等】

岩間運動広場は月曜日は原則として利用できないそうだが、塀も何もないので使っても良いのではなか、と聞いたが、海洋センターも休みなので原則として使っては困るということだった。開放してはと思うが、いかがか。

【回答】

ここで明快には申し上げられませんが、月曜日が休みだから使わないでくれという回答だったということなので、担当課と相談して後で回答します。私は使っていないのであれば大いに使ってもらっていいと思います。建物を使うということでしたら当然休館日がありますが、よく検討してみます。

6. やすらぎの森の駐車場について

【意見等】

やすらぎの森は、施設と駐車場の間が非常に距離がある。真ん中にある歩道に屋根をつけてもらえれば非常に良いと思う。

【回答】

やすらぎの森の駐車場はつくったときから課題になっています。施設の玄関から駐車場までの距離が長い、狭いという意見が出ています。

実は2年前に全体の駐車場の台数も少ないということで、一部法になっている部分を立ち上げて埋めて駐車場の台数を30台くらい増やしました。バスの位置も奥のほうだったのですが親族の方を考えて手前にしました。入ってきて西側の駐車場も、以前は業者専用だったのですが、今は一般の方に開放するなど改善はしていますが、抜本的な解決にはなっていないのは事実です。

今日も斎場の組合の会議があり、同じような意見が出ました。駐車場までの起伏をなくし、石が敷いてあるところをつぶして駐車場にしまえば一番手取り早いと思います。距離的にも近くなります。ただ、きれいに整備されているところを壊すというのも抵抗があります。屋根も考えましたが奥の駐車場から入口まで付けると1千2、3百万はかかり、景観的にもどうかという話になり、抜本的な見直しにはなっていないのが現状です。

課題としては充分認識していますので、改善に向けて何らかの対応はしていきたいと思います。

7. 学校の夏休みのあり方について

【意見等】

夏休みになるが、共稼ぎの家庭が多くなっていて、鍵っ子が多くなってきた。たとえば外部委託でもいいから、夏休み期間中子どもを預かることができないか。そういうことを笠間市からやっていただきたいと思う。

【回答】

今年から土曜日に寺子屋事業を始めました。小学校5、6年生の学力の向上が必要だと思い、塾にはやはりそれなりの経済的負担が伴うということで独自の寺子屋事業として始めました。今年は夏休みに当たる開催は5日間だけでしたが、今後もっと拡大していきたいと考えています。鍵っ子の一日の対策にはならないですが、学力向上にはしっかり取り組んでいきたいと思っています。

【回答】

市としては児童クラブは夏休み中もやっていますので、夏休みはそこに行くという形にしています。要するに児童クラブは夏休みも開設しているということです。

【意見等2】

児童クラブは当初に申し込まなければならないので、夏休み期間中だけを見ていただくというわけにはいかない。

【回答2】

そうですね。もう一つは公民館活動でそういう受け皿作りをやっていきます。夏休みをどういう風にしていくか、これからまたいろいろな意味での課題があるかと思いますが、希望のある方にどうするかを公民館活動も合わせて考えていきたいと思っています。一方で地域の子ども会活動などがずいぶん下火になっています。昔はラジオ体操をやったり、子ども会でいろいろな行事を行う受け皿を地域で作っていました。そういうことも笠間市全体としては考えていく必要があると思っています。

8. 岩間武道館前の道路の整備について

【意見等】

道路の整備については岩間武道館の前の道路が非常に狭いので、岩間町時代から拡げてほしいと言っていたが、近々やってもらえるものと思っている。

【回答】

岩間武道館前の道路は来年予算を要求しまして5か年計画で整備をしていきたいと思っています。現在3m程度の道路ですので、5mに拡げていきたいと考えています。

9. 通学路の拡幅について

【意見等】

通学路の問題ですが、日吉町の裏の十文字のところから中学校の裏門へ行く道路が非常に狭隘なので、地主の了解を得て拡幅できないのか。市の考えを聞きたい。

【回答】

ただいまの話は先ほどの路線と同じですね。来年度から国庫補助金を使い、5か年計画で整備します。

10. AED講習会について

【意見等】

AED設置補助事業というのがあり、市内の事業者、工場、ガソリンスタンド等に設置されているようだが、こういう施設の人は講習を受けて使えるようになっているのか。

【回答】

AEDの設置補助事業についてはチラシを市報等に出しているところですが、10万円ぐらいの補助金ということで募集しています。講習会についてはやはり市報等に出して募集していますので、どんどん参加していただきたいと思っています。

【質問2】

講習会を定期的開催にすれば、もっと使える人が増える。

【回答2】

今設置されているのは公共施設や病院などが中心ですが、今後、補助事業を利用するしない問わず、ある程度人の集まる場所は民間でも設置する傾向が強くなってきていますので、定期的に講習をやる

ということは必要だと思います。

1 1. 市でおみあいパーティーを実施してはどうか

【意見等】

これは個人の問題かも知れないが、農村地帯では非常にお嫁さんが不足していると思う。市でお見合いパーティーをやってはどうか。

【回答】

結婚の問題については、おっしゃるとおり晩婚化ですとか、チャンスがないということで未婚の方が多いうのは事実です。

お見合いパーティーは今までは行政はあまり関与しなかったのですが、最近は出会いの場の創出ということでお見合いパーティーなどを実施しているところも出てきました。

笠間の場合は、市が直接実施しているのではなく、民間の団体がいわゆるお見合いパーティーを実施して、それに対して市が助成するという形でやっています。結婚まで結びつく件数は、まだそれほど多くはなっていない状況です。

少子化対策の一環ですのでこれからもお見合いパーティー的なものは、民間やライオンズクラブにお願いしながら、しっかりやっていきたいと思います。

1 2. 耕作放棄地について

【意見等】

農地が荒れてしまっているのので、農業をやりたい人に市であっせんしてはどうか。

【回答】

いわゆる耕作放棄地や休耕地についても、笠間に限らず全国的な課題になっていまして、こうすれば全部解決するという良い手段はありませんが、今やっているのは耕作放棄地で、菜種をまいて油を作ったり、牛やヤギを放牧して草を食べてもらうということです。これらは抜本的な解決にはなりません、そういう取組みをしています。

農業については、窓口が一本化してそこに来ればすべてが分かる相談センター的なものが必要だという考えは持っています。

東大牧場が岩間にありまして、そこからヤギを2頭借りて片庭地区で飼っています。そうするときれいに雑草を食べてくれるというものです。もうひとつはイノシシ対策になるということです。試験的にやっていますが、今のところ確かにイノシシは寄って来ていないようです。

1 3. イノシシ対策について

【意見等】

福原のほうで親子連れのイノシシをここ1か月の間に3度ほど見た。イノシシは確かに増えている。見かけた道路の下にもかぼちゃ畑やとうもろこしとかがあり、それを食べに来ているようで、周辺の人家の人は困っていると思う。対策をとってほしい。

【回答】

イノシシの対策については猟友会の皆さんに駆除の班を編成してもらってやっていますが、駆除の期間中は何十頭も駆除しますが、イノシシの絶対数が多く、追いつかないのが現状です。市では防護柵やわなの設置に関しては補助を出して整備を進めているところです。ただ、これも抜本的な対策になってはいないのが現状です。

1 4. 今後さらに合併することはあるのか

【意見等】

平成の大合併が一段落したわけだが、今後笠間市においても第2弾の合併があるのかなのか。

【回答】

合併については国のほうでは合併特例法による措置は終了しました。

今後の合併については例えば、道州制ということで国のほうで言っていますが、ああいうものが実現されるようになれば、第2弾の合併があるのではないかという気はします。しかし、今の私の中ではとても第2弾の合併を考えるような状況ではないと思います。今は合併したこの新笠間市をどうやってよくしていくかということが優先だと私は思います。

15. 畜産試験場跡地の利用について

【意見等】

畜産試験場の跡地利用問題の進捗状況はどうなっているのか。また、県北に医療大学という話を聞くが、逆に茨城県の真ん中であるこの笠間地区に先にそういう事業を持ってこられるような話があるかどうか伺いたい。

【回答】

畜産試験場については確かに茨城県のど真ん中に位置してしまっていて知事選でもそれぞれの候補が政策を掲げていますけれども、具体的に茨城県内に医療系の大学ができるのかということ、そういう話は現時点ではありません。ただ畜産試験場については友部地区の皆さんがぜひ、そういうものを誘致したらどうだということ署名活動をされて市に持ってきていただいて、市から県に出した経緯はあります。ただ具体的にどこかの大学が移転を計画しているのかということ、それは今のところまったくありません。

16. 防災無線について

【意見等】

防災無線についてですが、岩間地区は無線機を市から借りているが、笠間市全体に行き渡らせるような計画はないのか。広報紙が出ているが、完全に見ている人がどれだけいるか疑問に思う。防災無線でその都度放送していただければ趣旨の徹底には大いに役立つと思うがどうか。

【回答】

防災無線については合併前も合併後もまったく変わってはいないです。笠間地区と友部地区は屋外スピーカーが80か所以上ありますが、岩間地区については、スピーカーは屋外が9か所であとは屋内の家庭の無線機でやっています。これを例えば笠間地区と同じようなスピーカー方式にすると膨大なお金がかかるということで、それで合併前の通りということで現在は対応しています。

防災無線は回覧板とは役割が違い、防災無線なので緊急のときに使うというのが本来の形です。最近使いすぎているような気がしますが、本当の災害のときに使うのが防災無線だということです。

【意見等2】

この問題については秘書課へ意見を出したことがあるが、何億もかかるからできないということだった。もし考える余地があるならば全戸に放送が伝わるようになれば本当に便利だと思う。

【回答2】

今の時点では現状で対応していきたいと思います。

17. バイオ燃料について

【意見等】

この冊子にバイオ燃料活用推進事業と書いてありますが、これは一般家庭の賞味期限が切れた油などの回収はしていないのか。回収していればどこに回収場所があるかが知りたい。

【回答】

平成20年度に民間企業の協力を得ていわゆる廃油、家庭で使ったもの、岩間地区は子ども会が中心になって集めてくれたものもあるのですが、主に岩間と笠間地区の学校給食センターの廃油を収集しました。それを精製してバイオ燃料として市のトラックで使用しました。あくまでも試験的ということで21年度はこれを本格化させる場合にどうやって廃油を集めるのか、精製したバイオ燃料をどこで使うのかなどを調査して、22年度から進めるのかどうかという検討をしています。